
飛蚊症

ostrich

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

飛蚊症

【Nコード】

N9926N

【作者名】

ostrich

【あらすじ】

視界を漂う微生物をみたいなアレ

飛蚊症という病気がある。病気というほどでもないのだけど、視界を小さなゴミのようなものがゆらゆらと漂う、そんな症状だ。原因は眼の裏についているゴミらしい。

ゴミのようなものとよく表現されて、だからわたしもそう表したのだけど、実はその言い方があまり好きではない。ゴミと言ってしまうにはその形はあまりに複雑で、水中の微生物を顕微鏡で見たときにも似ている。

小さい頃、わたしにはそいつが不思議でしうがなかった。だって手で捕らえようとしたときには、そいつは既に手をすり抜けている。決して捕まえられない。この世のものではないかのように。

病気といつても人間の多くは軽い飛蚊症を患っていて、友人とたまに空飛ぶそいつのことを話した。背景がごちゃごちゃしていないとそいつは見えやすいので、二人で空を見ながらそいつについて話した。「いでんしさいぼう」なんていうとんちんかんな名前をつけて、そいつの正体について話し合った。四次元の物質じゃないか、宇宙から来た生命体じゃないか。空想は広がり、空は青かった。

それから数年が経ち、わたしは眼の手術を受けることになった。例の飛蚊症が気になって眼科に行ったところ、網膜裂孔とかいうのになっっているのが判明した。わたしはレーザー手術でそれを治してもらった。

治療に伴い、飛蚊症の正体を知ることになった。手術を受けて、そいつは以前ほど見えなくなった。少し視界が寂しくなったなと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9926n/>

飛蚊症

2010年10月9日18時49分発行